

医療・介護ワーキング・グループの当面の審議事項について

令和2年10月19日

医療・介護ワーキング・グループ

座長 大石 佳能子

1. 運営の基本方針

コロナ禍への対応の中で求められる緊急的な課題に対応するとともに、高齢化の進行や国民の健康促進・追及に向けた意識・生活様式の変容等に対応し、国民・患者視点に立ったサービスの提供を実現させる観点から、デジタル技術の活用などを通じた医療・介護サービスの効率化と質の向上、新たな産業の創出・発展に取り組む。

なお、当面は以下の審議事項に取り組むが、これらに限定することなく、見直しが必要な課題には臨機応変かつ迅速に取り組んでいく。

2. 当面の審議項目

(1) 重点的に取り組む課題

ア 新規領域における医療機器・医薬品の開発・導入の促進

- ・医療機器に係る取扱いルールを整備・明確化を図るなど、デジタル技術を活用した新規医療機器・医薬品の迅速・円滑な開発・導入を可能とする承認基準・運用の見直しに取り組む。

イ 医療現場におけるデジタル技術の活用を阻害する制度の見直し

- ・緊急・災害時を含むあらゆる状況下でも、必要な医療・介護サービスが円滑に提供されるよう、医療現場におけるデジタル化を促進するとともに、患者本人等が自身の医療情報等に円滑にアクセスできる仕組みの導入・整備等に取り組む。

ウ オンライン診療・オンライン服薬指導の普及促進

- ・コロナ禍におけるオンライン診療・服薬指導の時限的措置の状況を踏まえ、患者の受診機会の確保・医療サービスの効率的な提供を実現する手段としてのオンライン診療・服薬指導の普及・定着に取り組む。

エ 医薬品提供方法の柔軟化・多様化

- ・患者・国民のニーズに応じて柔軟かつ多様な手法を用いた医薬品の提供を可能とすべく、服薬説明、調剤等に係る対面・現場での処理を前提とした業務ルールの見直し等に取り組む。

(2) 規制改革実施計画（令和2年7月）など過去の成果のフォローアップ

規制改革実施計画（令和2年7月）等に盛り込まれている規制改革項目の内、以下の項目についてフォローアップを予定する。これ以外の規制改革項目についても必要に応じて当ワーキング・グループにおいてフォローアップを行う。

ア 医療・介護関係職のタスクシフト

イ 介護サービスの生産性向上

ウ 一般用医薬品（スイッチOTC）選択肢の拡大

エ 社会保険診療支払基金に関する見直し

3. 取りまとめ等

できるものから順次速やかに成案を得られるよう、意見を取りまとめる。

以上